

藤岡市



議会だより

◆発行日 平成27年2月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 有限会社大石印刷
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第69号



定例会は、11月27日から12月11日までの15日間の会期で開催されました。

藤岡市風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定についてなど30議案が提出されました。

12月定例会のあらまし

◇27日|| 本会議 会期の決定。

市長提出議案28件、議員提出議案1件を上程、うち26議案を即決。

◇2日|| 経済建設常任委員会、教務厚生常任委員会。

◇8・9日|| 本会議 一般質問。

◇11日|| 本会議 委員会付託議案3件を可決。議員提出議案1件を即決。

学校教育について

渡辺
新一郎

1000円を補助していま
す。

問 過去3年間の自転車通学時の事故件数について伺います。

問 小・中学校のエアコン設置について、今までエアコンは設置しないと明言していましたが、なぜ方針を変えたのか伺います。

答 現在、最優先課題として取り組んでいる施設の耐震化及び老朽化対策事業に一定のめどが立つた中でよりよい教育環境を提供で

このい教育環境を操作するよう、ほかの課題とともに検討を深めていくということです。

問 予算がどのくらいかかかるか伺います。

答 小学校153教室で約3億4800万円、中学校66教室で約1億6600万円、合計219教室で、約5億1400万円です。

答 市の自転車通学者への補助について伺います。



答 市負担による保険の加入については、他市の取り組みを注視するなど、今後の課題と考えています。

答 平成24年度8件、25年度12件、26年度は11月までで6件で、そのほとんどが自動車との接触であり、けがの程度は打撲等の軽症でした。

答 国や県からの指導もあり、児童・生徒、保護者を対象とした薬物乱用防止教室を昨年度から実施しています。

問 薬物乱用防止に向けた啓発活動について伺います

答 藤岡保健福祉事務所が平成23年10月に設置した「ダメ。ゼッタイ。」普及運動、多野・藤岡地区推進連絡会議と協力し、さまざまな機会を通じて、啓発活動を実施しています。

問 甲種高山社蚕業学校は藤岡の市街地にありました。学校跡地の一角に案内板等を設置するなどして、当時の高山社が大規模な教育機関であり、全国から学生を集めて人材の育成をしていましたことを広く紹介すべきと思いますが、市の考えを伺います。

答 高山社蚕業学校が清温
育を全国標準養蚕法へと高

AEDについて
始めた功績は重要です。今後
整備予定のガイダンス施設
で展示し、多くの方に興味を
持つてもらえるようにし
たいと考えています。

AEDは普及しましたが、有効に使われていない実情があります。このことを改善するために設置場所の職員全員がAEDを使うことが重要です。

そこで職員に対するAEDの使用法を含む救命救急講習の実施状況と今後の計画を伺います。



問 AEDの設置場所の多くは、休日や夜間には閉鎖され、AEDを使えません。そこで24時間営業のコンビニ等にAEDを設置し、必要なときに貸し出すような事業の実施について伺います。

答　市内には約40軒のコンビニがあり、AEDがあれば市民の安心に繋がります。しかし、救急車が到着するまでの平均時間が約8分であることから、設置の効果は限定的と考えています。

答 A E D を使用した救命講習は、市職員では新人研修で行います。それ以外でも希望すれば救命講習に参加できますが、受講者は多くありません。今後は定期的に受講させ、全ての職員が使えるようにしていきたくと考えています。

藤岡市第4次総合計画における観光振興について

岩崎 和則

■ 藤岡市には、国指定名勝及び天然記念物の桜山公園、三波石峡、ふじの咲く丘、ららん藤岡、また温泉等がありますが、これらに入り込み観光客数の推移について伺います。



答 平成18年度の入り込み客数は、257万8000人、平成25年度は、約334万8000人となり、約29%の増加になっています。主な観光地では、ふじの咲く丘が約11万人で、平成18年度比38・4%減、桜山公園は約7万6000人で、平成2000人で19・8%減、三名湖は約5万3750人で、平成2000人で19・8%減、

7200人で95・3%減、神流湖周辺は約27万8000人で5%減となっています。ららん藤岡は約254万人で76・4%増、土と火の里公園は約2万3000人で46%減、八塩温泉は約7200人で95・3%減、

■ 藤岡市においては、観光客に対するアンケート等を早急に実施して、現状の流れを把握すべきだと思います。また、今後ららん藤岡の観光客に対するアンケート等を早急に実施して、現状の上り線と下り線の観光客の流れを把握すべきだと思います。

■ ららん藤岡には観光客が入っているけれども、ららん藤岡から他の主要観光施設にはほとんど行っています。また、今後ららん藤岡の観光客に対するアンケート等を早急に実施して、現状の流れを把握すべきだと思います。

区域に指定され、うち462カ所が特別警戒区域に指定されています。

■ 土砂災害警戒区域等の指定をするにあたり、地元説明会が行われることですが、実施状況を伺います。



災害・防災対策について

橋本 新一

■ 本市の地域防災計画の土砂災害防止計画では土砂災害警戒区域、特別警戒区域は何カ所指定されています。

答 土砂災害警戒区域等の指定は、都道府県が砂防基礎調査を実施し、住民説明会及び市町村長から意見を聴取し、都道府県が行うものであります。本市においては、今後検討していくと考えています。

答 平成20年7月から12月にかけて、区域内に危険箇所のある藤岡地区的山崎町及び南町、平井地区、美九里地区、日野地区、鬼石地区、浄法寺地区、三波川地区、美原地区の9地区において、群馬県と共同で実施しています。

■ 地元説明会を受けた住民は、警戒区域、特別警戒区域であることを承知しているのか伺います。

答 土砂災害防止法に基づく区域指定を行うにあたり、地元説明会を開催するとともに、区域指定後は、危険箇所を示したハザードマップを作成し全世帯に配布していますので、おおむね承知していると判断しています。



す。

■ 指定された区域の住民が被害に遭われた場合は、自己責任となるのか伺いま

答 市町村長は、災害が発生するおそれがある場合、その地域の住民に対し、避難勧告等を発令する権限が付与されています。

■ 避難勧告等の発令基準に達したにもかかわらず、住民に避難の勧告や指示をしなかつた場合は、市に責任がありますが、避難の勧告や指示に従わず被害を受けた場合は、自己の責任になります。

**市の防災・防犯と
危機管理について**

大久保 協城

問　**自主防災組織について**
伺います。

答　現在市内で82団体が結成されていますが、組織の存在が住民に知られていないかつたり、活動の実態がない団体もあるのが現状です。

問　**除雪対策について**
伺います。

答　昨年2月の大雪後、国土交通省、群馬県、群馬県警察、県内35市町村等により、群馬県道路除雪会議が設立され、群馬県道路除雪行動計画が策定されました。

各道路管理者、委託業者と連携した除雪体制を事前に確認し共有することで、道路交通の混乱を最小限に抑えたいと考えています。

問　**災害協定について**
伺います。

答　北は北海道から南は九州まで101の自治体と締結しています。その他に関係機関や民間企業など、食料、日用品、燃料等の優先供給、また資機材のレンタル、情報発信、災害復旧、

福祉避難所の設置等に関する協定を締結しています。

問　**子どもの安心、安全について**
伺います。

答　児童、生徒の安全確保のため、防犯ブザーの配布や不審者を想定した避難訓練の実施など、被害の未然防止に努めています。他市の事例として、ランドセルなどにICタグをつけ、登下校のメールを連絡するシステムなどがありますが、導入は難しいと考えています。今後も子どもたちの安全指導や通学路の安全点検見守り体制の充実に取り組んでいきたいと考えています。

問　**消防団の活動と充実・強化について**
伺います。

答　火災の予防や鎮圧に関する業務、地震や風水害等の災害予防や警戒、防除等に関する業務などを広く活動を行っています。不明者の搜索、花火大会や地域活動の警備など、幅広く活動を行っていただいている消防資機材についても、消防団の人員等に

ついても現状を維持、また強化をしていきたいと考えています。

局と協議していきます。また、国会図書館のデジタル化資料送信サービスについて導入について伺います。

問　**読書通帳について**
伺います。

可能でも、申請のみで利用検討したいと考えています。

答　読書通帳は履歴が残り、読書に親しむことはもとより、多様な読書に寄与すると思われます。まずは児童を対象とした手づくり読書通帳の作成を検討したいと考えています。



藤岡市立図書館について

斎藤 千枝子



問　**図書館の公衆無線LAN、Wi-Fi環境の整備状況について**
伺います。

答　無線LANについては、調査し導入に向けて関係部

問　**雑誌スポンサー制度は地元企業などに1年間の雑誌の購入費を負担していくことでもあります。この制度の導入について**
伺います。

答　他の自治体の状況を調査研究したいと考えています。貸し出しする時に本を消毒、殺菌する図書消毒機があります。これは、紫外線でウイルスなどを殺菌消毒し、また送風により本にはさまた髪の毛やほこりなどを除去するのですが、導入について伺います。

問　**図書資料の汚れは、ふき取り清掃を行っていますが、年間約40万点の図書資料が貸し出される状況のなかで、清潔な状態を保つことに苦慮しています。利用者の安全、安心を高めるための機械として有益と考えますので、導入に向けて関係部局と協議を進めながら検討していきたいと考えています。**

美術画報

茂木 光雄 ついて

問 ぐんまかぐらビヨン
ヨンと藤岡市の取り組みについて伺います。

答 ぐんままちづくりビジョンには、人口減少を前提とした公共交通や都市施設の再構築、空き地既存施設の利活用やまちなかへの転居の促進、集約施設の誘致、利便性の高い移動手段の確保、防災機能の強化、産業創出などの基本方針があります。

アクションプログラムとはこのビジョンを踏まえ上位計画である都市計画マスター・プランとの整合性を図りながら、藤岡市の実情や課題に応じて、必要な取り組みを選択し、人口減少や超高齢社会における望ましい将来像のための実行計画を作成するものです。

今後、県の協力のもと作成していくますが、古桜町地の土地利用、中・心市街地の空き地の有効活用などを検討する必要があると考えており、策定後は、このアクションプログラムに基づき、取り組んでいきます。

答 藤岡市側について、新鏑川橋を含め、都市計画道路中上大塚線から市境までが事業化されています。新鏑川橋は、鏑川橋付近の交通渋滞を解消するため大塚線までの延長2700mを、群馬県が主要地方道根小屋町交差点から、中上寺尾藤岡線バイパスとして事業実施しています。両市境にかかる新鏑川橋は、延長431m、幅員14・5mで設計され、平成25年度から橋脚工事に着手しており、平成32年度完成予定です。

藤岡インター、エンジ西産業団地については、県による事業化が図れるよう藤岡市長から群馬県知事と企業局あてに、昨年1月15日に要望書を提出しております。現在、県企業局で課題の調整を行っています。計画地は新たな産業団地として藤岡市の産業振興、雇用拡大、経済の発展に欠くことのできないものと考えてい

北部環状線について

問 北部環状線につながる
寺尾藤岡線バイパス 鏡川新
橋の工事の進捗状況と沿線
の開発について伺います。

中小企業対策について

3

渡辺
徳治

問 住宅リフォーム助成制度は、リフォームによって住民は環境の良い住みやすい家づくりに助成が受けられ、業者には仕事が入り市は税収が増えると、三者が得をするという制度として、全国的に広まっています。
そこで、この制度の県内の実施状況と本市の対応を伺います。

などは異なっていますが
12市中8市が実施していくま
す。本市では、目的を限定
しない新たな住宅リフォーム
ムの助成制度については、
景気の動向を注視しながら
地域振興策のひとつとして
検討していくたいと考えて
います。

答 本市では現在、空き店舗等の活用に対して補助事業を実施していますが、今後もこの事業を推進していくべきです。

また、営業している店舗のリニューアル対策については、先進地の事例及び市内商店街の状況等を勘案しながら、研究していくべきだと考えております。

問 高齢者の方が、買い物や病院に行くのに、バス路線から離れた地域の人はタクシーを利用します。「毎年減らされている年金から病院に行くたびにタクシーチ一袋が1500円、2000円とかかるので、本当に大変だ。」という悲鳴を聞きます。

高齢者福祉タクシー券の
発行についての要望も出さ
れていますが、市の考えを
伺います。

答 高齢者を対象にした福祉タクシー券については、県内で実施している市はありません。高齢者対象の一
律の福祉タクシー券の発行については、現在考えてい
ません。

答 県内の実施状況ですが、自治体によって工事の条件や助成率、助成金額の上限



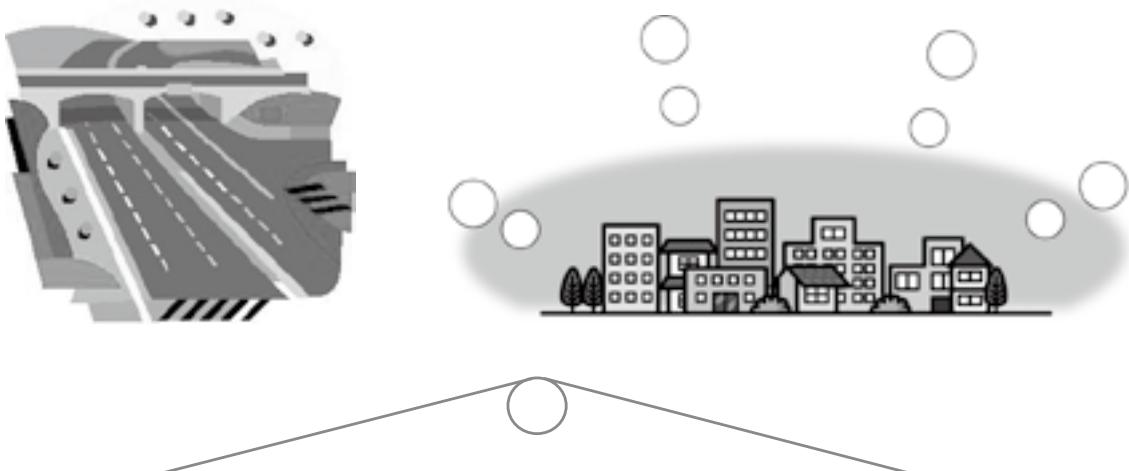
藤岡市の都市計画について

神田 和生

問 藤岡市の発展はインター周辺の開発、この道しかないと考えますが、インター周辺の開発について今後どのように行つていくのが、展望を含めて伺います。

答 藤岡インターインターチェンジ周辺地域は、市街化調整区域であるところから、開発するためには市街化区域への編入が必要です。平成21年3月に藤岡インターインターチェンジ周辺地域整備構想書を、群馬県と協力して策定しました。構想書では、ららん藤岡の西側に、バスターミナルを中心とした流通拠点を整備するとともに、民間による組合区画整理手法で、市街化区域に編入を図ることを提案しています。

さらには内閣府や国土交通省とも協議を行いながら、藤岡インターインターチェンジ周辺地域整備構想の具現化や、首都機能のバックアップ施設の誘致など、インターインターチェンジ周辺開発を進めていきます。



問 藤岡市は、群馬県やらに上信越地域の玄関として交通の要所であり、利便性のよい街です。さらに藤岡を拠点とした基幹的防災拠点都市構想を取り入れてみるはどうか伺います。

答 道の駅を防災拠点として活用していくことは、今年の道の駅連絡会全国大会でも大いに議論されました。本格的に国土交通省が道の駅の連携に動きだした今がチャンスだと思っています。そこで、道の駅の活用と首都圏のバックアップ機能の誘致なども検討していくたいと考えています。

藤岡市の発展については、しっかりと明確な政策を持つべきで、このインター周辺の開発事業は、大変重要であると考えています。

この議会だよりに掲載してある一般質問は、要約してありますので、詳しくは、藤岡市のホームページや市役所相談室、図書館で会議録（2月下旬公開予定）をご覧ください。

また、一般質問の様子は、インターネットによる録画配信も行っています。
藤岡市のホームページの「藤岡市議会」→「議会中継・録画放映」で見ることができます。

こちらも、ぜひ、ご覧ください。

◆市議会ホームページ <http://fujioka.gijiroku.com/>

経済建設常任委員会報告 行政視察

視察年月日 平成26年7月16日(水)
場所 沖縄県糸満市

道の駅いとまんについて

道の駅「いとまん」は、

平成21年にオープンし、地元食材を使用した飲食店や工芸品、特産品の販売を行っている糸満市物産センター「遊食楽(ゆくらじ)」、新鮮野菜を販売する「ファーマーズマーケットいとまん」、市内外から水揚げされた水産物の販売を行う「お魚センターノ」、カフェや精肉販売などをを行う障害者就労支援施設「イノー」の4施設からなっています。

この道の駅の特徴として、地元の農産物を販売する「ファーマーズマーケットいとまん」があります。平成14年のオープン以来、地域の特徴を活

かした地産地消への取り組みが評価され、平日で約2000人、休日には約3000人を越える人で賑わっています。

商品を提供する生産者の登録者は約1300名で、会員になるには、沖縄県農業協同組合の正・准会員で、糸満市内に耕作地があることと農産物・

加工品を自ら生産・製造する人であれば、年会費2000円で誰でも会員になれます。商品の搬入時間は、午前2回、午後1回の3回で、会員が自らの責任で搬入を行つており、売れ残った商品は、翌日の陳列のときに引き取ります。また、購入者からの苦情や、出荷した商品に腐敗などがあった時は、会員に対し注意力ード(イエローカード)を出し、累積3回で30日間の出荷停止となります。

このような取り組みの結果、平成25年度の来店者数は約86万7000人、売上金額は約15億円の実績となっています。視察は、平日の午前中でしたが、商品は常に陳列棚が空にならないような態勢になつております。大

勢の買い物客で賑わい、人気の高さを肌で感じました。

ららん藤岡



委員長 委員 委員 委員 委員 委員
吉田 達哉
副委員長 反町
神田
青木
松村
斉藤
千枝子
和生
貴俊
久保 钧
信夫 賢一

教務厚生常任委員会報告 所管調査

調査年月日 平成26年6月26日(木)
時 間 午前10時～午後4時

連携型小中一貫校について

平成27年度事業実施に向け、26年度を準備期間として小野中学校区で試験的に実施されていきます。この事業は、小学校と中学校を連続した9年間の義務教育と捉えて、児童生徒の発達段階を考慮したカリキュラムを編成し、児童生徒や教職員が相互に交流しながら教育活動を行うもので、指導力の向上や学力向上、生徒指導の充実、中1ギャップの緩和などを目的としています。

小中学校の教師が互いの授業を見合うことや、中学校教師による小学校での授業により、専門的授業を開拓し学力向上を

図ります。また、小学校の段階から中学生とふれあい、高校進学や社会に出るまでの過程を見るこどりにより、進路や将来の希望について考えることや中学に進学するときの環境の変化の緩和等の効果も期待されるとしていま

す。

26年度の小野小・小野中学校の取り組みをもとに、市内全校での取り組みに向けた計画の策定等の準備を進めるとしていますが、各中学校区の小学校数や地域の実情を考慮して進めていく必要があり、長期的には少子化が進むことによる学校編成など地域の協力も必要です。

学校給食センターについて



り、ともに老朽化が進むなか、故障などは、夏休みなどの長期休業時に対応しています。第一、第二調理場合わせて1日約600食を調理し、現在の調理能力は限界となっています。

また、調理場の空調管理は、衛生管理上、温度25度、湿度80%以下で運用されることが望ましいとされていますが、現行では保たれていません。

新給食センターの建設が期待をされるところであります。センター方式との方向性が示されていますが、現在のところ具体的な建設計画は発表されていません。

食の安全や教育による子どもたちの健やかな成長は、誰もが望むものであり、その目的のため、早

期の施設整備が望まれます。
第一調理場は昭和53年、第二調理場は昭和63年より業務を開始してお



す。

委 委 委 委 委 委 委
員 員 員 員 員 員 員
冬木 佐藤 岩崎 橋本 高桑 藤雄 新一
一俊 淳 和則

市議会を傍聴しませんか？

議会は、3・6・9・12月の定例会と隨時に開催する臨時会があります。

◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所2階議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名を記載し、受付番号札を持って入場します。傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。

傍聴人の定員は58人です。

なお、傍聴に際して、議場内での発言に対して声を出したり、拍手または写真撮影、録音などはできません。ご了承ください。

◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市のホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

3月定例会（予定）

| 月 日 | 時間 | 摘要 |
|----------|-------|---------|
| 2月26日(木) | 10:00 | 本会議 |
| 2月27日(金) | 10:00 | 本会議 |
| 3月 2日(月) | 10:00 | 常任委員会 |
| 3月 3日(火) | 10:00 | 常任委員会 |
| 3月 6日(金) | 10:00 | 予算特別委員会 |
| 3月 9日(月) | 10:00 | 予算特別委員会 |
| 3月11日(水) | 10:00 | 一般質問 |
| 3月12日(木) | 10:00 | 一般質問 |
| 3月16日(月) | 10:00 | 本会議 |

編集後記

所存であります。

新しい年を迎え、皆さまにとつて、より良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年末には、衆議院が突然解散し、国民の皆さまに信を問う選挙が行われました。これからの国政に期待したいと思います。

地方創生の実現、景気回復、この道しかない、と前に進んでいく決意が示されました。



藤岡市におきましては、今年4月の市議会議員選挙から、議員定数を22人から20人と減らす議員提出議案を、賛成多数で可決しました。これからの国政に期待したいと思います。

委員会だより編集委員会
委員長 委員会
副委員長 委員
委員
吉田 齊藤 佐藤 岩崎 渡辺 野口 隅田川 青木 貴俊
千枝子 達哉 淳和 德治 靖一

議案等審議結果<12月定例会>

| 番号 | 件名 | 結果 |
|-----------------|--|------------|
| (市長提出議案) | | |
| 諮問5号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて | 異議なし(全員一致) |
| 諮問6号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて | 異議なし(全員一致) |
| 第83号 | 藤岡市危険ドラッグ撲滅都市宣言について | 可決(全員一致) |
| 第84号 | 藤岡市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について | 可決(全員一致) |
| 第85号 | 藤岡市長及び副市長の諸給与条例の一部改正について | 可決(全員一致) |
| 第86号 | 藤岡市教育委員会教育長の諸給与支給条例の一部改正について | 可決(全員一致) |
| 第87号 | 藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について | 可決(全員一致) |
| 第88号 | 藤岡市部設置条例の一部改正について | 可決(全員一致) |
| 第89号 | 藤岡市福祉医療費支給に関する条例の一部改正について | 可決(全員一致) |
| 第90号 | 児童福祉法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | 可決(全員一致) |
| 第91号 | 藤岡市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る 介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について | 可決(全員一致) |
| 第92号 | 藤岡市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の制定について | 可決(全員一致) |
| 第93号 | 藤岡市風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定について | 可決(全員一致) |
| 第94号 | 藤岡市みかぼみらい館の指定管理者の指定について | 可決(全員一致) |
| 第95号 | 藤岡市栗須の郷の指定管理者の指定について | 可決(多 数) |
| 第96号 | 藤岡市ゆったり館の指定管理者の指定について | 可決(全員一致) |
| 第97号 | 藤岡市高齢者自立センター藤岡の指定管理者の指定について | 可決(全員一致) |
| 第98号 | 藤岡市高齢者自立センター鬼石の指定管理者の指定について | 可決(全員一致) |
| 第99号 | 藤岡市デイサービスセンター栗須の指定管理者の指定について | 可決(全員一致) |
| 第100号 | 藤岡市デイサービスセンター鬼石の指定管理者の指定について | 可決(全員一致) |
| 第101号 | 藤岡市土と火の里公園の指定管理者の指定について | 可決(全員一致) |
| 第102号 | ららん藤岡の指定管理者の指定について | 可決(全員一致) |
| 第103号 | 藤岡市民プールの指定管理者の指定について | 可決(全員一致) |
| 第104号 | 財産の処分について | 可決(全員一致) |
| 第105号 | 市道路線の廃止について | 可決(多 数) |
| 第106号 | 市道路線の認定について | 可決(全員一致) |
| 第107号 | 平成26年度藤岡市一般会計補正予算(第3号) | 可決(全員一致) |
| 第108号 | 平成26年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号) | 可決(全員一致) |
| 第109号 | 平成26年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号) | 可決(全員一致) |
| 第110号 | 平成26年度藤岡市一般会計補正予算(第4号) | 可決(全員一致) |
| (議員提出議案) | | |
| 第6号 | 藤岡市議会議員定数条例の一部改正について | 可決(多 数) |
| 第7号 | 藤岡市議会基本条例の一部改正について | 可決(全員一致) |
| (選任) | | |
| | 経済建設常任委員会委員長の互選 | 当選 |
| | 経済建設常任委員会副委員長の互選 | 当選 |